

令和6年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス

小・中学校 国語科 教科指導研修

1 研修日程

(研修者：小学校87人、中学校37人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場	
第1日 ＜Aグループ＞ 6月25日 (火) ＜Bグループ＞ 6月28日 (金)  小中・前後期 合同 2グループに 分けて開催	9:00~ 9:30	受付 6/25<総合教育センター多目的ホール前> 6/28<総合教育センター大講義室前>	総合教育センター 6/25 多目的 ホール 6/28 大講義室	
	9:30~ 9:45	オリエンテーション		
	9:45~10:30	【講義：国語科における今日的課題】 総合教育センター研究指導主事		
	11:00~12:00	10:30~11:00	移動（レポート丁合を含む）	第5講義室 第7講義室 第8講義室
		11:00~12:00	【研究協議Ⅰ：「読むこと」に関する「主体的・対話 的で深い学び」の実現に向けた学習指導について】 小学校部会 講師 小学校教諭（2名） 中学校部会 講師 中学校教諭（1名）	
		12:00~13:00	休憩	
		13:00~16:10	【研究協議Ⅱ：「読むこと」に関する「主体的・対話 的で深い学び」の実現に向けた学習指導について】 小学校部会 講師 小中学校教諭（5名） 中学校部会 講師 中学校教諭（2名）	
16:10~16:30		教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡		
第2日 8月8日 (木)  小中合同で 開催	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター講堂前>	総合教育センター 講堂	
	9:30~ 9:50	オリエンテーション		
	9:50~12:30	【講義：求められる資質・能力と小中学校国語科の授 業と評価】 講師 大学教授		
	12:30~13:30	休憩		
	13:30~16:10	【研究協議：「主体的・対話的で深い学び」の実現に 向けた授業改善の実践報告】 小学校部会講師 小学校教諭（5名） 中学校部会講師 中学校教諭（2名）	第1講義室 第2講義室 第3講義室 第4講義室 第5講義室 第7講義室 第8講義室	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡		

2 連絡事項（課題等）

連絡事項 (課題等)	第1日	<p>【研究協議Ⅰ・Ⅱについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修前期研修者とグループをつくり、前期研修者の学習指導について練り上げる。</li> </ul> <p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編（所属校種のもの）</li> </ul> <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
---------------	-----	---

第2日	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作成に使用した教科書、提出課題当日持参分6部</li> </ul> <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出課題 『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の実践報告</li> <li>・課題様式 A4判1枚（記入例参照）</li> <li>・提出期限 <b>令和6年7月5日（金）必着</b></li> <li>・提出方法 郵送または持参 3部（当日持参 6部）</li> </ul>
-----	--

### 3 課題様式（記入例）

令和6年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 小・中学校国語科

受講番号									
テーマ	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の実践報告								
1	単元名と実践学年 <span style="float: right;">（章立ては、左記のとおりとする）</span>								
2	実践のねらいと手だて（注1）								
3	実践の内容（注2）								
4	成果と今後の課題（注3）								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>個人情報の取り扱いに十分留意し、特に児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。</p> </div> <p>【課題作成上の留意点】</p> <p>（注1）「2 実践のねらいと手だて」においては、児童生徒のどんな資質・能力を育成するための取組か、そのためにどんな手だてを講じたかを明らかにして書く。</p> <p>（注2）「3 実践の内容」においては、単元の全てを記載するのではなく、「2 実践のねらいと手だて」を踏まえて、重点的に記述する。</p> <p>（注3）「4 成果と今後の課題」においては、児童生徒の学びや姿から、本実践の成果を記載する。その一方で、実践を通して明確になった更なる課題についても記述する。また、本実践だけでなく、日頃の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組の中で、課題や疑問、明らかにしたいこと等について記述してもよい。</p>									

（注）・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。

- ・ A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになるときは両面印刷とする）。
- ・ 字の大きさは、10.5ポイント。
- ・ 文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

### 4 課題送付先

〒470-0151

愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研究部経営研究室（杉山） 宛て

※封筒の表左隅に「中堅教諭等資質向上研修【後期】小・中学校国語科課題在中」と朱書きする。

### 5 問い合わせ先

担当 研究部経営研究室（杉山）

電話 0561-38-9503（ダイヤルイン）